



優雅にダンスを

室根町女性スポーツ大会

室根町女性スポーツ交流会(室根町婦人協議会主催)は7月2日、きらめきパーク体育館で約40人が参加し催されました。

初めに参加者全員で「川の流れるように」のダンスを熱心に練習。その後は3チームに分かれてソフトバレーボールを行い、リーグ戦で楽しみました。慣れないスポーツに悪戦苦闘しながらも、チームで力を合わせ、楽しいひとときを過ごしていました。



ソフトバレーを楽しむ参加者

建設現場を体験

建設業ふれあい体験

県建設業協会千厩支部青年部会(小野寺真部会長)主催による建設業ふれあい事業が7月7日、折壁小学校で催されました。

小学校の校庭に大小さまざまな重機13台が用意され、バックホーの操縦体験や高所作業車体験、測量機器体験が行われました。校舎裏では舗装作業を見学。舗装前のアスファルトに触れた児童は、その熱さに驚いていました。

普段できない仕事を体験した児童たちは、「楽しかった」「どきどきした」「熱かった」などと感想を話していました。



巧みにバックホーを操縦



団旗を降納する旧室根村消防団の金野団長(右から2人目)

50年の歴史に幕

室根村消防団団旗・分団旗降納式

旧室根村消防団の団旗・分団旗降納式は6月11日、コミュニティ消防センター駐車場で行われ、団員、関係者ら約150人が参加しました。参加者が見守る中、旧室根村消防団の金野団長(現市消防団副団長)が団旗を降納。昭和30年に消防団が発足して以来、50年の歴史に幕を閉じました。

金野団長は、「室根村消防団の志、先輩団員の志を継承し、室根地域住民はもとより、一関市民が安全で安心して暮らせるまちのさらなる向上を目指しまい進する所存です」と今後の抱負を述べました。

旧室根村消防団6分団は、新市において、室根地域団として2分団に再編成されました。



真剣に座禅に取り組む園児

我慢する心を育てる

釘子保育園で座禅の日

釘子保育園(昆野範子園長・園児11人)で6月22日、座禅の会が行われました。約15年前から年8回行われ、18年度はこの日が2回目。茂林寺の田村純一住職が同園を訪れ、園児たちに座り方、手の組み方、姿勢の正しい方など座禅を指導しました。

「我慢する心を育てようと基本的な動作を教えている。最近の子どもたちは、聞き分けがよく、おとなしくなってきた。小学校でも評判が良い」と田村住職。

園児たちは、「楽しかった」「またやりたい」と話していました。

みんなと一緒にエクササイズ!

「あなたとエアロビック」公開収録

NHK衛星第二テレビで放送されている「あなたとエアロビック」の公開収録が7月9日、東山総合体育館で催されました。新「一関市」誕生を記念した収録には約150人が参加。番組メインキャスターの知念かおるさんら4人のインストラクターと参加者が、一体となってエアロビックを楽しみました。知念さんは「エアロビは勝敗のないスポーツ。みんなで運動する気持ちよさがあり、体と心のリフレッシュになる」と魅力を語りました。親子で参加した鈴木潤子さん(東山町)は「エアロビックは初体験でしたがとても楽しかった。良い汗をかきました」と話していました。

この模様は、NHK衛星第二テレビで10月13日(金)午前9時、10月14日(土)午前5時、10月29日(日)午前11時25分から、それぞれ放送予定です。



会場は熱気に包まれました



打席に立つ銀次選手

大声援に滞った球場!

プロ野球イースタンリーグ

プロ野球イースタンリーグ公式戦「楽天イーグルス対北海道日本ハムファイターズ」が7月16日、東山球場で行われました。

原田悠平くん(東山中2年)ら3人が始球式を行い、試合開始。2軍調整中の岩隈投手が3回表に登板、本県出身の銀次選手も指名打者で出場しました。試合は4対3で日本ハムが勝利。県内外から訪れた1680人の観客は、迫力あるプロのプレーを堪能しました。

「あの水害を忘れない」

安全で安心して暮らせる地域に

河川愛護活動が7月9日、完成した砂鉄川堤防で行われました。平成14年7月の台風による砂鉄川大洪水で経験した水害の記憶を風化させないようにと催されたもので、松川2、3区の住民や国、県、市関係の約200人が参加。堤防付近の草刈りやごみ拾いなどの環境整備作業を行いました。

作業後、地域がこれからも自然と共生していくことを誓い、河川敷にソメイヨシノ2本を記念植樹しました。



昨年開通した岩ノ下橋下流に記念植樹



詩碑の前に立つ寄贈者の宮澤雅隆さん

賢治生誕10年記念

ゆかりの東山に詩碑を建立

石と賢治のミュージアムで宮沢賢治の詩碑が建立され、7月9日、除幕式が行われました。

詩碑は賢治の遠縁にあたる宮澤雅隆さん(花巻市)が寄贈。賢治が晩年技師として働いたことで知られる旧東北砕石工場の近くに建立されました。詩碑には賢治が残したいわゆる「詩ノート」に記されている「これらは素樸なアイヌ風の木柵であります」の全文が刻まれています。

除幕式には関係者約50人が参加。宮澤さんは「この地を開拓したアイヌ人のことを賢治の詩を通して知ってほしい」と話していました。